



提出 令和 7 年 11 月 26 日

一 般 質 問 通 告 書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問

順番

10

東海村議会議長 河野 健一様

議席番号 2 番 議員氏名 恵利 いつ

質問事項 (件名)	村内 11 の原子力関連事業所が 抱えるリスクの評価と安全対策	答弁者
要旨（具体的に） 村内には東海第二原子力発電所のほかに、研究所や燃料製造会社など 11 の原子力関連事業所がある。各施設ごとのリスクをどのように把握・評価しているか。また、施設の安全対策、特にドローンなどを用いたテロ攻撃などへの各事業所の対策について、村はどのように把握しているか。		

質問事項 (件名)	「こども誰でも通園制度」への取組状況	答弁者
要旨（具体的に） これまでの保育制度の枠を超えて、全ての子育て世帯を支えるとして、「こども誰でも通園制度」が 2026 年度からスタートする。子育て世帯への支援を強化する政策に反対するものではないが、安全安心な環境が整備できない状況での拙速な導入は避けなければならない。東海村の取組状況を伺う。 1. 受入れ可能な人数は 2. 保育士確保の状況（離職率・充足率） 3. 保育環境 4. 既存園の保育士との意見交換など		

氏 名	恵利 いつ	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	サクラの木を食い荒らす特定外来生物 クビアカツヤカミキリの村内侵入への備え	答弁者
要旨（具体的に） サクラやモモなどの木を食害し、弱らせ枯らせてしまう特定外来生物クビアカツヤカミキリが 2019 年 8 月に茨城県内で初めて確認された。県内では、古河市、結城市、五霞町、八千代町、そしてつくば市など県南県西地域から被害が広がっている。 現在村内における被害報告はないが、繁殖力や拡散能力が高いクビアカツヤカミキリの被害を食い止めるためには、何よりも早期発見・早期駆除が不可欠である。阿漕ヶ浦のサクラが見られなくなるような事態を未然に防ぐためにも、住民への早めの啓発、そして協力を求めておくことが必要と考える。村としてどのように捉えているか伺う。		

質問事項 (件名)	「歴史と未来の交流館」は当初計画していた 施設として十分に活用されているか	答弁者
要旨（具体的に） 歴史と未来の交流館は、令和 3 年 7 月のオープンから 4 年が経過した。建設の取下げを求める署名活動が沸き起こった経緯もあり、交流館の管理運営について注視している住民が少なからずいる。これまでの 4 年余りを振り返ってどのように評価しているか伺う。 1. まる博事業は様々なテーマを取上げ、工夫を凝らした内容で充実していると思う。これまでの取組についてどのように分析・評価しているか。また、博物館が併設されていることのメリット・デメリットについて伺う。 2. 令和 6 年度の決算によると、電気料金が 1,941 万円であった。ほぼ同じ床面積の日立市郷土博物館の光熱水費は、389 万円で、約 5 分の 1 である。節電にどのように取り組んでいるか。 3. 公開承認施設を目指すとしていたが、進捗状況はいかがか。いつ頃を目標にしているのか。		